

## 研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

昭和大学における tele-ICU 支援による影響の評価

### 1. 研究の対象および研究対象期間

2018年3月から2028年3月31日に昭和医科大学病院と昭和医科大学江東豊洲病院の2つの病院、5つのICU・CCU・救急部門でtele-ICUが導入された患者さん。

2023年1月5日から2028年3月31日に昭和医科大学藤が丘病院と昭和医科大学横浜市北部病院の2つの病院、2つのICUでtele-ICUが導入された患者さん。

2025年3月1日から2028年3月31日に小田原市立病院（2026年5月に小田原市立総合医療センターに名称変更）ICUでtele-ICUが導入された患者さん。

### 2. 研究目的・方法

tele-ICUとは、集中治療専門医とICU診療の経験のある看護師がICU外の場所に設置された支援センターから、安全性を担保したネットワークを利用して医療情報を現場ICUと常時共有し、ベッドサイドスタッフとの間で双方向音声画像システムを介してコミュニケーションを取り診療支援を行うシステムです。専門スタッフの不足や地域偏在による影響を軽減すると期待されています。

昭和医科大学では、2018年3月からは昭和医科大学病院と昭和医科大学江東豊洲病院の2つの病院、5つのICU・CCU・救急部門でtele-ICUを導入し、ICU/入院死亡率の低減ならびに滞在日数の短縮、現場医師の業務負担の軽減、血液製剤の使用量の減少などの効果を認め有用性が実証されました。2023年1月5日からは、神奈川県にある藤が丘病院と横浜市北部病院でtele-ICUとのネットワーク接続が開始し、2025年3月からは、小田原市立病院のICUとtele-ICUとのネットワーク接続支援が開始されました。この研究の目的は、支援拡張によるICU診療への影響を引き続き評価することです。

tele-ICUシステムに保存された経年データを解析し、患者さんの重症度や予後への影響を明らかにします。

### 3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2028年3月31日まで。

**4. 研究に用いる試料・情報の種類**

- ・各クリティカルケアユニット(以降ユニット)に入院した 患者さんの数
- ・患者さんの背景(性別、年齢、診断名、入院時入院形態、入院日、転入日、転棟日、退院日、在ユニット期間、入院期間)
- ・患者さんの転帰(ユニット内死亡数・率、入病院死亡数・率、再入室数・率)
- ・患者さんの病態(併存疾患、バイタルサインデータ、検体検査結果、重症度スコア; Acute Physiology Score、APACHE スコア、敗血症患者数、合併症発生率)
- ・治療内容
- ・Tele-ICU からの介入状況

**5. 外部への試料・情報の提供**

外部への情報の提供はいたしません。

**6. 研究組織**

研究責任者

昭和医科大学 医学部 集中治療医学講座 特任教授 小谷 透

既存試料・情報の提供のみを行う機関

小田原市立病院 病院長 川口竹男

**7. お問い合わせ先**

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学 医学部 集中治療医学講座 特任教授 氏名：小谷 透

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3874-8518